

木造軸組工法住宅の横架材及び基礎のスパン表(2018年版)第1版 正誤表

2019年4月16日公開
2022年8月19日更新

この正誤表は更新される場合がありますので、最新版は(公財)日本住宅・木材技術センターのHP(<http://howtecs.shop-pro.jp/?pid=130662408>)でご確認ください。

なお、第1版2刷(平成30年6月発行)については第1版2刷用正誤表を、第1版3刷(平成31年4月発行)及び第1版4刷(令和2年8月発行)については第1版3刷・4刷用正誤表を参照してください。

No	ページ	行等	正	誤	備考
書籍					
1	2	下段	<p>(注) 部位・部材によっては未掲載のものがある。対処方法は付属ディスク「第5部 横架材スパン表の作成条件」の「2.1 材料規格」箇所に記載されている。</p> <p>*1: 一般地域及び多雪区域共通とする *2: 製材のみとする *3: 梁受け金物の利用を考慮する</p>	<p>*1: 一般地域及び多雪区域共通とする *2: 製材のみとする *3: 梁受け金物の利用を考慮する</p>	
2	25	全体	<p>4.1、4.2、4.3の必要最小せいを算出する主スパン表は以下に示す条件で作成する 樹種:(省略) カラマツ(対称異等級構成集成材 E95-F270)の10種類 ただし、4.3については、<u>スギ(甲種構造材・二級、無等級)、ベイマツ(甲種構造材・二級、無等級)</u>を除く6種類 材幅:105mm幅、120mm幅、150mm幅の3種類 (以下省略)</p> <p>4.4の可能最大スパンを算出する主スパン表は以下に示す条件で作成する 樹種:(省略) 材幅:(省略) 基準寸法:(省略) 断面欠損:<u>根太欠き(両側)の1種</u></p> <p>4.6、4.8、4.9の可能最大スパンを算出する主スパン表は以下に示す条件で作成する 樹種:(省略) 材幅:<u>105mmのみ</u> (以下省略)</p> <p>4.5、4.7、4.10の可能最大スパンを算出する主スパン表は以下に示す条件で作成する 樹種:<u>スギ(E50、E70、甲種構造材・二級、無等級)</u> <u>ベイマツ(E90、E110、甲種構造材・二級、無等級)の8種類</u> 材幅:<u>45mm幅のみ</u> 基準寸法:<u>910mm、1,000mmで共通1種類</u> 断面欠損:<u>欠損無し</u></p>	<p>4.1、4.2、4.3の必要最小せいを算出する主スパン表は以下に示す条件で作成する 樹種:(省略) カラマツ(対称異等級構成集成材 E95-F270)の10種類 材幅:105mm幅、120mm幅、150mm幅の3種類 (以下省略)</p> <p>4.6、4.8、4.9の可能最大スパンを算出する主スパン表は以下に示す条件で作成する 樹種:(省略) 材幅:<u>90mm幅、105mm幅で共通1種類のみ</u> (以下省略)</p> <p>4.4、4.5、4.7、4.10の可能最大スパンを算出する主スパン表は以下に示す条件で作成する 樹種:(省略) 材幅:(省略) 基準寸法:(省略) 断面欠損:<u>大引は根太欠き(両側)の1種、その他の部材は欠損無し</u></p>	

No	ページ	行等	正	誤	備考
3	31	6行目から	<p>負担幅を求める上式中の「バルコニー荷重 / 床梁用床荷重」は下表による(第5部3.1.5 表5.3.1-3、表5.3.1-4、表5.3.1-5、表5.3.1-7による)。多雪区域における短期用荷重換算表(各ページ上段)には下表「応力用」「短期用」を用い、長期用荷重換算表(下段)には下表「応力用」「長期用」を用いる。たわみ用は長期用及び短期用で共通である。</p>	<p>負担幅を求める上式中の「バルコニー荷重 / 床梁用床荷重」は下表による(第5部3.1.5 表5.3.1-8、表5.3.1-9による)。多雪区域における短期用荷重換算表(各ページ上段)には下表「応力用」「短期用」を用い、長期用荷重換算表(下段)には下表「応力用」「長期用」を用いる。たわみ用は長期用及び短期用で共通である。</p>	

No	ページ	行等	正	誤	備考
付録ディスク					
1	2	下段	<p>(注) 部位・部材によっては未掲載のものがある。対処方法は付録ディスク「第5部 横架材スパン表の作成条件」の「2.1 材料規格」箇所に記載されている。</p> <p>*1: 一般地域及び多雪区域共通とする *2: 製材のみとする *3: 梁受け金物の利用を考慮する</p>	<p>*1: 一般地域及び多雪区域共通とする *2: 製材のみとする *3: 梁受け金物の利用を考慮する</p>	
2	25	全体	<p>4.1、4.2、4.3の必要最小せいを算出する主スパン表は以下に示す条件で作成する 樹種:(省略) カラマツ(対称異等級構成集成材 E95-F270)の10種類 <u>ただし、4.3については、スギ(甲種構造材・二級、無等級)、ベイマツ(甲種構造材・二級、無等級)を除く6種類</u> 材幅:105mm幅、120mm幅、150mm幅の3種類 (以下省略)</p> <p>4.4の可能最大スパンを算出する主スパン表は以下に示す条件で作成する 樹種:(省略) 材幅:(省略) 基準寸法:(省略) 断面欠損:根太欠き(両側)の1種</p> <p>4.6、4.8、4.9の可能最大スパンを算出する主スパン表は以下に示す条件で作成する 樹種:(省略) 材幅:105mmのみ (以下省略)</p> <p>4.5、4.7、4.10の可能最大スパンを算出する主スパン表は以下に示す条件で作成する 樹種:スギ(E50、E70、甲種構造材・二級、無等級) ベイマツ(E90、E110、甲種構造材・二級、無等級)の8種類 材幅:45mm幅のみ 基準寸法:910mm、1,000mmで共通1種類 断面欠損:欠損無し</p>	<p>4.1、4.2、4.3の必要最小せいを算出する主スパン表は以下に示す条件で作成する 樹種:(省略) カラマツ(対称異等級構成集成材 E95-F270)の10種類 材幅:105mm幅、120mm幅、150mm幅の3種類 (以下省略)</p> <p>4.6、4.8、4.9の可能最大スパンを算出する主スパン表は以下に示す条件で作成する 樹種:(省略) 材幅:90mm幅、105mm幅で共通1種類のみ (以下省略)</p> <p>4.4、4.5、4.7、4.10の可能最大スパンを算出する主スパン表は以下に示す条件で作成する 樹種:(省略) 材幅:(省略) 基準寸法:(省略) 断面欠損:太引は根太欠き(両側)の1種、その他の部材は欠損無し</p>	
3	31	6行目から	<p>負担幅を求める上式中の「バルコニー荷重 / 床梁用床荷重」は下表による(第5部3.1.5 表5.3.1-3、表5.3.1-4、表5.3.1-5、表5.3.1-7)による)。多雪区域における短期用荷重換算表(各ページ上段)には下表「応力用」「短期用」を用い、長期用荷重換算表(下段)には下表「応力用」「長期用」を用いる。たわみ用は長期用及び短期用で共通である。</p>	<p>負担幅を求める上式中の「バルコニー荷重 / 床梁用床荷重」は下表による(第5部3.1.5 表5.3.1-8、表5.3.1-9)による)。多雪区域における短期用荷重換算表(各ページ上段)には下表「応力用」「短期用」を用い、長期用荷重換算表(下段)には下表「応力用」「長期用」を用いる。たわみ用は長期用及び短期用で共通である。</p>	
4	888,889	立面図	<p>888、889ページの立面図の1階の階高:2900 888、889ページの立面図の2階の階高:2700</p>	<p>888、889ページの立面図の1階の階高:2800 888、889ページの立面図の2階の階高:2800</p>	2022年8月19日追加